

都市計画道路3路線の進捗と今後の見通しは

小池 信一郎 議員（自民新政会）

町長 「福3・4・12号線」は25年秋頃の完成を予定



開通が待たれる「福3・4・12号線」（駅西口）

質問 都市計画道路の進捗状況について、JRと協議を進めていると聞いています。町は、八高線から西側の用地確保に鋭意取り組んでいる。

「福3・4・26号線」は、現在実施中の事業の進捗状況などを見据えながら進める必要がある。国や都の補助金などを最大限活用し、町の財政状況を勘案した上で整備を進めていく。

町長 「福3・4・12号線」は、北関東防衛局との協議が整い、25年秋頃の完成を予定している。

「福3・5・17号線」は、都が八高線から東側までの買収をほぼ終了。立体部などの工事施工についてJRと協議を進めていると聞いています。

町長 「福3・4・26号線」は、現在実施中の事業の進捗状況などを見据えながら進める必要がある。国や都の補助金などを最大限活用し、町の財政状況を勘案した上で整備を進めていく。



移転か改築か どうする町役場庁舎

森 巨 議員（自民新政会）



町長 現段階で考えを述べるのは控えたい

質問 町の庁舎は震災時において倒壊の危険があることが判明した。また、現庁舎が、立川断層上にあることも考慮すると、一刻も早く安心安全な庁舎の実現が待たれると考える。そこで次の4点を町長に伺う。

問① プレハブによる仮庁舎への移設計画の進捗状況は。

町長 25年2月に設計委託契約を締結した。今後、人・物・情報に関する経路の確保を計画し、10月完成を目指す。

問② 仮庁舎ほどの程度の期間を想定しているか。

町長 プレハブ形式の建物で、リース契約とする予定。使用期間は5年間から6年間を予定している。

問③ 新庁舎建設に向けての準備を進める考えはあるか。

町長 現在は、仮庁舎への移転を最優先課題



仮庁舎建設予定の役場北側駐車場

町長 現在は、仮庁舎への移転を最優先課題

こんな質問もありました
生活指導、運動指導の方法は適正か
教育長 関係機関と連携し、粘り強く指導していく。スポーツ指導方法についての啓発も図る。

まちづくりの「理念」や「理想」について

尾作 武夫 議員（自民新政会）



町長 「自立と協働」を基調とし「みらいにずっとほこれるまち」を目指す

質問 自然の豊かさや歴史・風土など地域の個性をいかした「まち」をつくるために何が必要なのか、まちづくりの実践の基本は「理念」や「理想」である。ここでいう理念や理想は抽象的なものでなく、地域に密着した現場性をもち、地域の実状の中から必然的に生まれた理念である。そこで、文化・スポーツ、親睦の行事、地域福祉、安全・安心、防災、生活環境、青少年健全育成について、まちづくりの「理念」や「理想」を町長に伺う。

町長 その土地に暮らす人々の生活を支える基本的な施策を、公平・公正に施行するだけでなく、町民自らが地域課題を解決する民主的な政治を実現することが、私の町長としての政治理念の中核である。

第4次長期総合計画では「自立と協働」を基調とし「みらいにずっとほこれるまち」を将来都市像に掲げ、「回廊計画」など、これからの町の発展につながる施策を、限られた財源の中で実行し、まちづくりを進めることが私の使命であると思っている。



将来都市像の看板（狭山池公園）

どう進める、健康のまちづくり

近藤 浩 議員（改革みずほの会）

町長 効果と実効性のある事業実施に努める



他自治体で取り組んでいる健康施策のパフレット

質問 高齢化が進展する中、住民一人一人の実現を目指し、生き生きとした楽しいまちを築いていきたいと考える。そして、そのことは介護や医療費の負担軽減にも繋がっている。それには生活習慣病の予防、心の健康、食育や、若い時からの健康に対する啓蒙など意識的総合的な施策が必要である。

町長 町でも様々な取り組みを行っているが、より一層の取組みに向け、町長、教育長の所見を伺う。

町長 24年度は、保健師を増員し、生活習慣病の予防と乳幼児から

こんな質問もありました
どうする、図書館施策と文化行政
教育長 図書室整備計画は、駅西區画整理事業の進捗状況を見ながら計画したい。新郷土資料館建設に伴う機能移転後は蔵書数と読書スペースの確保を検討する。